

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 2277100588 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 慶成会 | | |
| 事業所名 | グループホーム花みずき(葵館) | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市西区大山町2882番地 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年2月25日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年3月13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.nhw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2019_022_kani=true&JigyosyoCd=2277100588-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 令和2年3月6日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな広い敷地にゆったりと配置された3棟の平屋造りの建物です。ご利用者が自由にのびのびと暮らしていただけるよう、玄関は夜間帯を除き常に開錠されています。敷地内に作った畑を利用して、老人会や保育園児との交流を行うなど、立地環境の利点を活かして地域社会とのつながりを大切にしています。職員は入居されている方と共に生活を楽しみ、ご家族様にとってもものんびりと寛げる環境づくりを心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

3つのユニットに頼もしいリーダーを配置、管理者が各々の良いところを引きだして任せる体制が敷かれ、待機者24名との数字がその信頼の高さを物語っています。例えば給食会社は2年で見直しをかける公明正大さで年々精査を重ねており、内部でも工夫を図っています。「味が濃いからか、残食がなくなったね」を経て「あれ、血圧があがってるね」と変化に気づくと漬物を代替にして数値を元に戻し、パン好きな人の為のパンモーニングが月数回、「刺身を食いたい」との声に買いに走ることもムース食を元の魚の形に戻すなどの他、ひな祭りのちらし寿司は利用者が味付けに腕を奮う日もあり、どの切り口も力を尽くしていることが伝わります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|--|---|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「やさしく、ゆったり、よりそって」という法人理念をもとに、行動指針をクレドとして示し職員全員へ配布している。入職時研修ではクレドの内容を取り入れており、入職後もクレドに基づいた内容を月目標として設定するなどして実践している。 | クレドを月間目標とし、日々理念の実践が図られています。泉館では「裏の効率、表の非効率」を合言葉に、「自分が裏方を担うことで、ハレのイベントがスムーズに進む」との考えが浸透している行動が職員にはあると、リーダーも自負しています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 地域の保育園、小中学校、老人クラブとの定期的な交流の機会はあるが、日常的な交流はできていない。昨年度から法人全体として地域へ発信していけるよう、地域の方を招いて秋祭りを開催したり、地元大山地区の桜まつりへの模擬店を出店したりと交流を図っている。 | 法人全体として地域の『桜まつり』に人を供出しており、幸館のリーダーは豚汁担当(他にもみたらし団子、イカ焼きも有)でデビューを果たしています。園児の芋ほりと老人会の植え付け、草取りは恒例行事として定着し、本年度は法人内の保育園とのジャガイモ掘りも始まっています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の福祉専門学校生の実習、中学生の職場体験学習で認知症について学んでいた。また、法人内で連携して民生委員の方を招いた施設見学会と説明会を行っている。地域、職員向けに開催される初任者研修では、職員が講師として参加した。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には地域の方、ご家族様以外にも他事業所の管理者にも参加していただき、悩みを共有したりアドバイスを得ている。今年度は法人内事業所のケアレジデンス東山、ナーシングケア東山と合同で会議を開き、さらに意見の幅も広がった。 | 運営推進会議では、平均年齢・介護度などのほか、稼働率も含め入退去もしっかりと報告しています。法人内の介護付ケアハウス、看護多機能型居宅介護施設と合同開催ということで、それぞれの種別特長も際立って、出席の家族の興味・関心と呼び、意見も出やすくなっています。 | 3事業所合同で問題はないものの、同日・同会場であっても時間帯は分けることが望ましいと思います。また、今後現在の方法を継続するなら、年1回程度は見学会を設け、グループホームの中を知ってもらう機会があると、良いと思います。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 市担当者の運営推進会議への参加以外にも、生活保護者の受け入れをしているため必要に応じて社会福祉課担当者とも連携をとっている。必要に応じて地域包括支援センターや市へ相談、報告を行っており、地域包括主催の研修会へ地域の方と一緒に職員が参加するなどしている。 | 生活保護を受けている利用者が1名いるため社会福祉課とは密に連携しており、年1回も訪問面談もあります。昨年9月に実地指導がありました。指摘事項はありませんでした。また地域包括支援センターの研修会には幸館リーダーをはじめ3名が参加しています。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事業所内での勉強会開催と委員会を設置している。法人全体での研修他、新規採用職員への教育機会を設けている。玄関の扉は夜間を除き常に開放しており、ケア会議等を通して身体拘束が行われないよう注意している。スピーチロックに気づいた時には都度注意している。 | 一昨年の身体拘束廃止未実施減算については身体的拘束適正化検討委員会を継続実施のうえ、諸事遵守しています。泉館の外国人職員の言葉遣いは日を追って改善され、また幸館では玄関を一時施錠して安寧を図る方法をとったこともありますが、適切に対処されています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 新規採用職員へのオリエンテーションの中で「高齢者虐待防止法」についての教育を行っている。また法人全体研修以外にも外部研修へ参加し、ケア会議で伝達研修を行う等、虐待防止への意識共有を図り防止に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 法人内での職員研修に参加することにより、権利擁護に関して学ぶ機会を作っている。また、既に成年後見制度を利用されている方が複数いるため、日々の支援を通じて学びを得ている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時には文面を確認しながら必ず口頭説明を行い、質問や不安点をお聞きしている。また、制度や利用料の内容が変更になった際には家族会と毎月発送している便りを利用し、その都度説明と必要に応じた同意を得ている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会、運営推進会議へ参加していただいたり、ケアプラン面談時に意見や要望を聞き、運営に反映させている。また、ご家族の都合や要望に合わせ、電話以外にもメールでの連絡も行っている。 | 春夏の家族会、秋の事業所まつり、冬は初詣と、家族とは四季を通じて親しさを増す機会をもっています。春の家族会は制度変更等運営に係るためか集まりもよく、またケアプラン面談で署名を得るとき要望を丁寧に確認する、体調変化はまめに連絡と密に関わりをつくっています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ケア会議や人事考課面談、職員意向調査アンケートを通して意見を聞く機会を設けている。管理者はリーダー会議を通して現場の把握に努めるとともに、月1回のアミーバ会議を通し代表者へ意見や提案を伝える機会を設けている。 | 泉館ではユニット会議の継続が課題でしたが、勤務体制を見直し、是正されています。ペルー、中国、ブラジルと職員が多国籍となり言葉の問題も多少あるものの、ユニット会議では活発な意見でています。幸館は意見を出せない人に配慮して事前に紙面上で進言してもらっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年2回の人事考課評価・面談を実施し次年度の昇給率に反映されており、今年度は委員会を設置して内容の見直しを行った。労働時間等についてはアミーバ経営を通して法人全体で情報共有されており、年1回の職員意向調査を実施することで職場環境・条件の整備に努めている | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人主催で新規採用職員研修が実施され、既存職員にも月1回以上研修の機会が設けられている。また、外部研修の案内発信他、法人による初任者研修は業務内に受講可能であり、キャリアアップに繋がるよう努めている。力量に応じた外部研修参加も行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 今年度は法人外の事業所との交換研修を実施できなかったが、運営推進会議へ参加していただくなど意見交換をしている。県グループホーム連絡協議会の研修参加他、法人内事業所間での職員研修を行い、サービスの質向上に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前には必ず事前面談を行い、本人に不安なことや困っている事を聴くようにしている。入所後は事前情報を基に本人の様子や言動に気を配りながら声をかけ、関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設見学時以外にも、入所突前前の準備段階でも必ずご家族へ電話をかけ、近況確認を行っている。入所前の事前面談にも可能な限り立ち会っていただき、直接要望等をうかがっている。立ち会えない場合であっても、入所手続きや面会時に話をうかがうようにし、関係づくりに努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 法人内の各事業所相談員・ケアマネが月1回集まり、入所相談のあった方に対して必要なサービス利用ができるよう話し合いの場を設けている。また、サービス提供がスムーズに行えるように常に情報共有し対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員は利用者と一緒に家事を行ったり、一緒に歌をうたったりと、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。家事等の後には必ずお礼を伝え、共に生活させていただいているという意識を忘れないよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には最近の様子や健康状態の報告を行い、必要に応じて電話やメール連絡を行っている。連絡を密に行うことで相談しやすい環境づくりを心掛けるとともに、受診や買い物対応にご協力いただいたりと、共に利用者を支えている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出・外泊等を自由にしていただき、ご家族やなじみの知人が心置きなく来館できるよう努めている。年賀状や暑中見舞いのやり取り他、電話の取り次ぎをするなど関係が途切れないよう支援している。 | 葵館では「故郷を偲ぶ利用者が過剰に同級生に電話をかけてしまうことで、想いがさらに強く募ってしまう」ことが心配されるとのケースがありましたが、職員が間に入り、旧友と季節の書簡交換をする等、距離間を調整することで現在も仲の良いやりとりが叶っています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションや家事を通し、利用者が集まったり協力し合える環境づくりに努めている。必要に応じて職員が間に入ったり、利用者同士の性格や相性を考えて席を配慮する等している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 法人内の施設へ異動した際には面会に出向き経過を見守る他、各事業相談員・ケアマネが月1回集まり経過確認と情報共有・フォローを行っている。また、ご家族から相談があった場合もその都度対応し、必要に応じて法人外の施設へ連絡をとる等フォローに努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 会話や行動から、利用者が希望している生活や要望を把握するよう努めている。認知症が進行し意向確認が困難であっても、言動や過去の生活から想いを汲み取り、ご家族と相談しながら随時検討・共有している。また、声をかける際にも利用者が選択できるような言葉かけを行っている | 泉館は全員女性です。井戸端会議状態で始終どこかで話の輪ができていますが、散歩や入浴では更に饒舌に気持ちを言葉に表してくださり、職員は助けられています。設備上、洗面台にお湯が出ないため、職員が不便さを推し量って朝のホットタオルを提供する事例もあります。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族への聞き取りを行い、生活歴や馴染みの暮らし・生活環境の把握に努めている。また、入所前に利用していたデイサービスへ出向いたり、担当ケアマネから情報を得るようにしている。可能であれば自宅へ出向き、生活環境を把握したり、ご家族へセンター方式の記入を依頼している | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の健康チェックで身体の状態を記録している。日常のケア記録、職員間の申し送りや情報交換により、常に状況把握に努めている。利用者ごとの申し送りファイルは生活面・医療面と内容によって色分けを行い、経過も含め把握しやすいよう工夫している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日常会話やモニタリングの際に本人の意向を確認したり、計画作成担当者が中心となって職員の意見をまとめている。また、面会やケアプラン面談の際にご家族に意向の確認を行い反映させている。 | 「長期目標・短期目標は達成できる目標(少し背のびした程度)にしましょう」「問題点ではなくニーズなので~できる、との前向きな書き方にしましょう」と申し合わせており、3つのユニット其々の計画作成担当者が介護計画書を作成しています。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者の発した言葉や行動を記録し、気づいた事や重要な内容は職員間で共有しやすいよう個別でファイリングしている。また、ケア会議で必要に応じた対応を話し合い、介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者の希望に応じて良レクや外食の機会を設けたり、本人・ご家族の意向に合わせてフラワーアレンジメントや書道教室ほか、囲碁を行っている。必要に応じてご家族へ相談したり、協力を得るなどしながら柔軟に対応している。また、必要に応じて入退去の引っ越しの手伝いも行っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアによる教室や、地域の老人会や保育園児と交流しながらの畑仕事を楽しみとなっている。また、来年度は人形劇のボランティアが来館予定である。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 法人内に診療所があり、月2回の内科任診以外にも必要時は医師へ報告・指示を受け対応している。診療所で皮膚科の対応も可能であり、適切な医療を受けやすい。利用者・ご家族の希望に合わせ、法人内の診療所以外の医療も受けられるよう支援している。 | 訪問看護(24時間オンコール)との連携ファイル、個人ファイル、日誌に其々同じものを挟み込み、薬の変更は『要連絡の一覧』に記載したものを薬局に渡しています。専門医の通院は家族にお願いしており、「1週間に1度で大変」と聞けば、交互に担当する支援をおこなっています。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週2回の看護師の来館時には必ず状況を伝え、必要な処置を依頼している。看護師と24時間オンコール体制をとっており、訪問日以外にも必要に応じて相談・報告を行い、医師への連絡・指示を仰ぐ等適切な対応がとれるよう努めている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際には職員が病棟まで立ち合い、医療機関へ生活状況などを詳しく伝えている。可能な限りお見舞いに出向き、認知症の進行緩和のためにも医療関係者と情報交換を行って早期退院に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 身体状況変化に応じて早い段階から医師・看護師・ご家族と話し合いの場を設け、意向確認や協力要請の話し合いを行っている。その内容を基に方針を定め、共有している。経過を見ながら必要に応じて再度面談を実施したり、ご家族が終末期に付き添える環境を整えている。 | 利用者の心身の状態変化に応じて、医師や訪問看護師の意見を仰ぎ、家族と相談しつつ、「看取りをするか、しないか」を検討し、職員にもカンファレンスで「家族はこのまま自然な形でお願いしたいと言っているけど…」と状況を伝えて同意を得て、取組む場合は総意で臨んでいます。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 法人内で心肺蘇生等の講習を行っている。また、利用者個々の予測される急変症状に合わせ、対応を事前に医師から指示を受けるようにしている。救急搬送等速やかに対応できるよう医療情報ファイルの作成と緊急連絡簿の作成を随時行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 新規採用職員を中心に、夜間火災を想定した避難訓練を各館ごとに実施している。また、台風による大規模停電の教訓を得て法人全体としてBCPへの取り組みを行い、大規模災害に備えた法人との防災協定を結んでいる。 | 法定訓練は2回、余裕があればプラス1回の3回と力を入れ、またBCPを視野に入れ合掌苑(町田市)と防災協定も結び、有事に備えています。アルファ米3日分、水1週間の備蓄のほか、本年度はマグネット付懐中電灯(LED)を購入、電池の本数管理も始めています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 |
|----------------------------------|------|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの性格や生活歴を理解し、言葉かけや対応に十分注意している。また、何かして下さった際には必ずお礼を伝えるように心がけている。ファイル管理含め、個人情報の取り扱いにも十分注意しており、入居の際には必ず意向確認を行っている。 | 長く此処に暮らしても「恥ずかしい」という女性利用者には同性介助を続けています。クレドの「ご利用者第一主義」は職員意識に蔓延、例えば失禁では「汚してない」という本人の気持ちを尊重して、隠している汚れた下着をそっと預かり、そと返すといったことが自然にできています。 |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃から本人の思いや希望を表現しやすいよう話の傾聴に努めている。また、認知症が進行した方には選択肢を出すなど表現しやすい対応に努め、言語コミュニケーションが困難な方には非言語コミュニケーションを工夫する等対応している。 | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者個々のレベルや嗜好に合わせレクリエーションを提供したりと、その方のペースで取り組むことができるよう支援している。利用者の希望に合わせて外出したり、屋外で過ごしたい方には所在確認や見守りを行い、危険のない範囲で屋外で自由に過ごしていただいている。 | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月1回の理美容出張サービスでは、利用する方の好みを伝えられるよう支援している。また、本人・ご家族の希望で日常的に化粧水・乳液をつけたり、お化粧をしたりしていたり、日頃から着たい服が着られるよう支援している。 | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりに合った食事前の準備や片付けに参加して頂いている。手作りご飯の機会を設け、メニューを一緒に考えたり、調理や盛り付けを通して楽しんでいる。屋外での食事の機会を設けたり、誕生日に好物を食べに出かけるなど、食事が楽しめるよう支援している。 | ムース食を元の魚の形に戻す、パン好きな人の為のパンモーニングが月数回と心を尽くし、ひな祭りのちらし寿司は利用者に酢飯の加減をお願いしたりと、食の楽しみが豊富です。また収穫したさつま芋50本を法人の秋祭りに供出したときは、皆でアルミホイル包みに励んでいます。 |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は業務委託先の栄養士が考え、バランスの良い食事を提供している。日々、食事と水分摂取量を記録することで変化に気づき、利用者一人ひとりの能力や体調に合わせた食形態を検討したり、好みの物や栄養補助食品を提供し支援している。 | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 本人に合った歯ブラシを選択し、毎食後一人ひとりに合わせた口腔ケアの言葉かけや支援を行っている。月1回歯科衛生士の来館があり、口腔内のチェックやブラッシング指導を受けている。治療が必要な場合でも、可能な限り訪問診療で対応している。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個別の排泄チェック表を記入し、排泄パターンやトイレサインの把握に努め、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。また、さりげない言葉かけや誘導を行い、自尊心の配慮に努めている。 | ADLとして2人介助の例はありませんが、尿感覚が薄い人は比較的にトイレに誘って、できるだけパッドを汚さないように配慮しています。拒否があっても、職員がタイミングをはかってトイレで用が足せるという行為を重ねることで、徐々に症状が和らぐ人もいます。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 日頃から水分摂取量や排泄の確認を行い、レクリエーションや体操などでできるだけ身体を動かすようにしている。また、乳製品や果物、食物繊維を摂っていただいたり、腹部のマッサージを行うなど、なるべく自然排便ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 週2~3回入浴できるよう支援している。体調や気分に応じて入浴日や時間を変更したり、好みのシャンプーや洗顔を使用いただき、できる限り希望に添えるよう支援している。入浴が困難な方には清拭や足浴・手浴・ベッド上でのシャンプーを行っている。 | 週2~3回を清潔の目安としています。葵館では、日中はNGでも夜間だと大丈夫な利用者がおり、暫らく対応していましたが再び拒否となり、現在試行錯誤中です。泉館では蜜柑の皮を干して、小分けで網に入れてもんでみかん色に染まったお湯を皆で堪能した日がありました。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活習慣やその時の状況に応じて急速・就寝して頂いている。室温や照明等の調整を行い、環境を整えている。夜間は2時間おきに見回りを行い、安心して休んで頂けるよう努めている。布団干しやシーツの洗濯を定期的に行い、気持ちよく眠れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 任診時には薬剤師が付き添い、一人ひとりに合った内服薬の調整と配薬管理を行っている。職員は配薬カードを活用して処方薬を把握し、誤薬のないよう確認したり、薬剤情報をファイリングしている。内服薬変更後の経過をみながら必要に応じて医師に報告している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりに合わせて役割をみつけ、活躍できる環境を整えている。また、感謝の気持ちを伝え、やりがいを感じて頂けるよう支援している。個人の趣味や習い事等、講師に來館してもらい楽しんでおり、作品を居室やリビングへ飾ることで、利用者同士の会話にも繋がっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 利用者の希望を聞き、下フイフや買い物へ出かける機会を作るようにしている。気候の良い時期には散歩へ出かけたり、誕生日レクの際にはその方の希望の場所へ1×1で出かけたりにしている。また、ご家族の協力を得ながら初詣へ出向いたり、地域のお祭りへ出かけている。 | 庭先に置かれたベンチでの日向ぼっこ、お地藏さんのお参り、散歩で立ち寄る園児とのふれあいが日々あります。うなぎパイファクトリーや館山寺の足湯など定番となった外出先もあるほか、天気予報で春の陽気と聞いた職員の発案でガーデンパークへと向かうということもあります。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 殆どの方が自己管理する事が難しく、使用する機会があまりないが、買い物や外出先での支払いは希望やレベルに応じて本人が支払えるよう支援している。また、お金を持っていないと不安な方には、少額だがお財布を持っていただき、安心できるよう支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎年、年賀状・暑中見舞いが出せるよう支援している。希望に応じて居室に固定電話を設置したり、携帯電話を持参していただいたり、好きな時に電話が使用できるよう支援している。利用者・ご家族の希望に応じて電話の取り次ぎも行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の混乱を招くような物がないよう環境を整え、常に清掃して清潔に努めている。利用者が心地よく暮らせるよう照明や温度を調整し、季節の花や飾り付けをしている。また、季節ごとに利用者の工作等を掲示し、利用者自身の自信や自慢に繋がるよう工夫している。 | 検食簿には湿度と温度を記録、快適な空間となるよう留意しています。葵館では昨年度、「整理整頓や清掃が課題」となりましたが、5S委員会が中心となりチェック表をつくって改善するとともに、脱衣所から風呂場までの動線を見直し、手摺りの位置を付け替えています。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合う利用者同士が隣席で過ごせるよう配慮したり、ソファをL字に配置して会話しやすいようにしている。廊下・玄関・玄関先にもベンチを設置し、思い思いの場所で過ごせるよう支援している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室内の家具は、できるだけ自宅を使い慣れた馴染の物を持参して頂いている。また、ご家族に相談してアルバム写真や好みの室内装飾品などを置いて頂くことで、自宅に近い居住空間を作るように努めている。自宅や和室生活だった方には、可能な限り和室への入所案内をしている。 | 介護計画書に「過ごしやすい環境を整える」と位置づけ、加湿器を置くようにしている居室もあります。各室電話回線が配され、現在2名が固定電話をつなげています。また持ち込みのベッドではADLに合わなくなり、法人所有のベッドを提供させてもらっている部屋もあります。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者が少しでも自立した生活ができるよう、トイレや居室入り口には分かりやすいように表示をしている。また、職員が身近で気配り・目配り・言葉かけをして自立した生活が送れるよう支援している。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 2277100588 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 慶成会 | | |
| 事業所名 | グループホーム花みずき (泉館) | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市西区大山町2882番地 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年2月25日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年3月13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2019_022_kami=true&JigyosyoCd=2277100588-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室 | | |
| 所在地 | 静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 令和2年3月6日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな広い敷地にゆったりと配置された3棟の平屋造りの建物です。ご利用者が自由にのびのびと暮らしていただけるよう、玄関は夜間帯を除き常に開錠されています。敷地内に作った畑を利用して、老人会や保育園児との交流を行うなど、立地環境の利点を活かして地域社会とのつながりを大切にしています。職員は入居されている方と共に生活を楽しみ、ご家族様にとってもものんびりと寛げる環境づくりを心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

3つのユニットに頼もしいリーダーを配置、管理者が各々の良いところを引きだして任せる体制が敷かれ、待機者24名との数字がその信頼の高さを物語っています。例えば給食会社は2年で見直しをかける公明正大さで年々精査を重ねており、内部でも工夫を図っています。「味が濃いからか、残食がなくなったね」を経て「あれ、血圧があがってるね」と変化に気づくと漬物を代替にして数値を元に戻し、パン好きな人の為のパンモーニングが月数回、「刺身を食いたい」との声に買いに走ることやムース食を元の魚の形に戻すなどの他、ひな祭りのちらし寿司は利用者が味付けに腕を奮う日もあり、どの切り口も力を尽くしていることが伝わります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「やさしく、ゆったり、よりそって」という法人理念をもとに、行動指針を credo として示し職員全員へ配布している。入職時研修では credo の内容を取り入れており、入職後も credo に基づいた内容を月目標として設定するなどして実践している。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 地域の保育園、小中学校、老人クラブとの定期的な交流の機会はあるが、日常的な交流はできていない。昨年度から法人全体として地域へ発信していきけるよう、地域の方を招いて秋祭りを開催したり、地元大山地区の桜まつりへの模擬店を出店したりと交流を図っている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の福祉専門学校生の実習、中学生の職場体験学習で認知症について学んでいただいた。また、法人内で連携して民生委員の方を招いた施設見学会と説明会を行っている。地域、職員向けに開催される初任者研修では、職員が講師として参加した。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には地域の方、ご家族様以外にも他事業所の管理者にも参加していただき、悩みを共有したりアドバイスを得ている。今年度は法人内事業所のケアレジデンス東山、ナーシングケア東山と合同で会議を開き、さらに意見の幅も広がった。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 市担当者の運営推進会議への参加以外にも、生活保護者の受け入れをしているため必要に応じて社会福祉課担当者とも連携をとっている。必要に応じて地域包括支援センターや市へ相談、報告を行っており、地域包括主催の研修会へ地域の方と一緒に職員が参加するなどしている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事業所内での勉強会開催と委員会を設置している。法人全体での研修他、新規採用職員への教育機会を設けている。玄関の扉は夜間を除き常に開放しており、ケア会議等を通して身体拘束が行われないよう注意している。スピーチロックに気づいた時には都度注意している。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 新規採用職員へのオリエンテーションの中で「高齢者虐待防止法」についての教育を行っている。また法人全体研修以外にも外部研修へ参加し、ケア会議で伝達研修を行う等、虐待防止への意識共有を図り防止に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 法人内での職員研修に参加することにより、権利擁護に関して学ぶ機会を作っている。また、既に成年後見制度を利用されている方が複数いるため、日々の支援を通じて学びを得ている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時には文面を確認しながら必ず口頭説明を行い、質問や不安点をお聞きしている。また、制度や利用料の内容が変更になった際には家族会と毎月発送している便りを利用し、その都度説明と必要に応じた同意を得ている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会、運営推進会議へ参加していただいたり、ケアプラン面談時に意見や要望を聞き、運営に反映させている。また、ご家族の都合や要望に合わせ、電話以外にもメールでの連絡も行っている。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ケア会議や人事考課面談、職員意向調査アンケートを通して意見を聞く機会を設けている。管理者はリーダー会議を通して現場の把握に努めるとともに、月1回のアミーバ会議を通し代表者へ意見や提案を伝える機会を設けている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年2回の人事考課評価・面談を実施し、次年度の昇給率に反映されており、今年度は委員会を設置して内容の見直しを行った。労働時間等についてはアミーバ経営を通して法人全体で情報共有されており、年1回の職員意向調査を実施することで職場環境・条件の整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人主催で新規採用職員研修が実施され、既存職員にも月1回以上研修の機会が設けられている。また、外部研修の案内発信他、法人による初任者研修は業務内に受講可能であり、キャリアアップに繋がるよう努めている。力量に応じた外部研修参加も行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 今年度は法人外の事業所との交換研修を実施できなかったが、運営推進会議へ参加していただくなど意見交換をしている。県グループホーム連絡協議会の研修参加他、法人内事業所間での職員研修を行い、サービスの質向上に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前には必ず事前面談を行い、本人に不安なことや困っている事を聴くようにしている。入所後は事前情報を基に本人の様子や言動に気を配りながら声をかけ、関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設見学時以外にも、入所突前前の準備段階でも必ずご家族へ電話をかけ、近況確認を行っている。入所前の事前面談にも可能な限り立ち会っていただき、直接要望等をうかがっている。立ち会えない場合であっても、入所手続きや面会時に話をうかがうようにし、関係づくりに努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 法人内の各事業所相談員・ケアマネが月1回集まり、入所相談のあった方に対して必要なサービス利用ができるよう話し合いの場を設けている。また、サービス提供がスムーズに行えるように常に情報共有し対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員は利用者と一緒に家事を行ったり、一緒に歌をうたったりと、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。家事等の後には必ずお礼を伝え、共に生活させていただいているという意識を忘れないよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には最近の様子や健康状態の報告を行い、必要に応じて電話やメール連絡を行っている。連絡を密に行うことで相談しやすい環境づくりを心掛けるとともに、受診や買い物対応にご協力いただいたりと、共に利用者を支えている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出・外泊等を自由にしていただき、ご家族やなじみの知人が心置きなく来館できるよう努めている。年賀状や暑中見舞いのやり取り他、電話の取り次ぎをするなど関係が途切れないよう支援している。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションや家事を通し、利用者が集まったり協力し合える環境づくりに努めている。必要に応じて職員が間に入ったり、利用者同士の性格や相性を考えて席を配慮する等している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 法人内の施設へ異動した際には面会に出向き経過を見守る他、各事業相談員・ケアマネが月1回集まり経過確認と情報共有・フォローを行っている。また、ご家族から相談があった場合もその都度対応し、必要に応じて法人外の施設へ連絡をとる等フォローに努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 会話や行動から、利用者が希望している生活や要望を把握するよう努めている。認知症が進行し意向確認が困難であっても、言動や過去の生活から想いを汲み取り、ご家族と相談しながら随時検討・共有している。また、声をかける際にも利用者が選択できるような言葉かけを行っている | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族への聞き取りを行い、生活歴や馴染みの暮らし・生活環境の把握に努めている。また、入所前に利用していたデイサービスへ出向いたり、担当ケアマネから情報を得るようにしている。可能であれば自宅へ出向き、生活環境を把握したり、ご家族へセンター方式の記入を依頼している | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の健康チェックで身体の状態を記録している。日常のケア記録、職員間の申し送りや情報交換により、常に状況把握に努めている。利用者ごとの申し送りファイルは生活面・医療面と内容によって色分けを行い、経過も含め把握しやすいよう工夫している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日常会話やモニタリングの際に本人の意向を確認したり、計画作成担当者が中心となって職員の意見をまとめている。また、面会やケアプラン面談の際にご家族に意向の確認を行い反映させている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者の発した言葉や行動を記録し、気づいた事や重要な内容は職員間で共有しやすいよう個別でファイリングしている。また、ケア会議で必要に応じた対応を話し合い、介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者の希望に応じて良レクや外食の機会を設けたり、本人・ご家族の意向に合わせてフラワーアレンジメントや書道教室ほか、囲碁を行っている。必要に応じてご家族へ相談したり、協力を得るなどしながら柔軟に対応している。また、必要に応じて入退去の引っ越しの手伝いも行っている | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアによる教室や、地域の老人会や保育園児と交流しながらの畑仕事を楽しみとなっている。また、来年度は人形劇のボランティアが来館予定である。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 法人内に診療所があり、月2回の内科任診以外にも必要時は医師へ報告・指示を受け対応している。診療所で皮膚科の対応も可能であり、適切な医療を受けやすい。利用者・ご家族の希望に合わせ、法人内の診療所以外の医療も受けられるよう支援している。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週2回の看護師の来館時には必ず状況を伝え、必要な処置を依頼している。看護師と24時間オンコール体制をとっており、訪問日以外にも必要に応じて相談・報告を行い、医師への連絡・指示を仰ぐ等適切な対応がとれるよう努めている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際には職員が病棟まで立ち合い、医療機関へ生活状況などを詳しく伝えている。可能な限りお見舞いに出向き、認知症の進行緩和のためにも医療関係者と情報交換を行って早期退院に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 身体状況変化に応じて早い段階から医師・看護師・ご家族と話し合いの場を設け、意向確認や協力要請の話し合いを行っている。その内容を基に方針を定め、共有している。経過を見ながら必要に応じて再度面談を実施したり、ご家族が終末期に付き添える環境を整えている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 法人内で心肺蘇生等の講習を行っている。また、利用者個々の予測される急変症状に合わせ、対応を事前に医師から指示を受けるようにしている。救急搬送等速やかに対応できるよう医療情報ファイルの作成と緊急連絡簿の作成を随時行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 新規採用職員を中心に、夜間火災を想定した避難訓練を各館ごとに実施している。また、台風による大規模停電の教訓を得て法人全体としてBCPへの取り組みを行い、大規模災害に備えた法人との防災協定を結んでいる。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの性格や生活歴を理解し、言葉かけや対応に十分注意している。また、何かして下さった際には必ずお礼を伝えるように心がけている。ファイル管理含め、個人情報の取り扱いにも十分注意しており、入居の際には必ず意向確認を行っている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃から本人の思いや希望を表現しやすいよう話の傾聴に努めている。また、認知症が進行した方には選択肢を出すなど表現しやすい対応に努め、言語コミュニケーションが困難な方には非言語コミュニケーションを工夫する等対応している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者個々のレベルや嗜好に合わせレクリエーションを提供したりと、その方のペースで取り組むことができるよう支援している。利用者の希望に合わせて外出したり、屋外で過ごしたい方には所在確認や見守りを行い、危険のない範囲で屋外で自由に過ごしていただいている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月1回の理美容出張サービスでは、利用する方の好みを伝えられるよう支援している。また、本人・ご家族の希望で日常的に化粧品・乳液をつけたり、お化粧をしたりしていたり、日頃から着たい服が着られるよう支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりに合った食事前の準備や片付けに参加して頂いている。手作りご飯の機会を設け、メニューを一緒に考えたり、調理や盛り付けを通して楽しんでいる。屋外での食事の機会を設けたり、誕生日に好物を食べに出かけるなど、食事が楽しめるよう支援している。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は業務委託先の栄養士が考え、バランスの良い食事を提供している。日々、食事と水分摂取量を記録することで変化に気づき、利用者一人ひとりの能力や体調に合わせた食形態を検討したり、好みの物や栄養補助食品を提供し支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 本人に合った歯ブラシを選択し、毎食後一人ひとりに合わせた口腔ケアの言葉かけや支援を行っている。月1回歯科衛生士の来館があり、口腔内のチェックやブラッシング指導を受けている。治療が必要な場合でも、可能な限り訪問診療で対応している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個別の排泄チェック表を記入し、排泄パターンやトイレサインの把握に努め、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。また、さりげない言葉かけや誘導を行い、自尊心の配慮に努めている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 日頃から水分摂取量や排泄の確認を行い、レクリエーションや体操などでできるだけ身体を動かすようにしている。また、乳製品や果物、食物繊維を摂っていただいたり、腹部のマッサージを行うなど、なるべく自然排便ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 週2~3回入浴できるよう支援している。体調や気分に応じて入浴日や時間を変更したり、好みのシャンプーや洗顔を使用いただき、できる限り希望に添えるよう支援している。入浴が困難な方には清拭や足浴・手浴・ベッド上でのシャンプーを行っている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活習慣やその時の状況に応じて急速・就寝して頂いている。室温や照明等の調整を行い、環境を整えている。夜間は2時間おきに見回りを行い、安心して休んで頂けるよう努めている。布団干しやシーツの洗濯を定期的に行い、気持ちよく眠れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 任診時には薬剤師が付き添い、一人ひとりに合った内服薬の調整と配薬管理を行っている。職員は配薬カードを活用して処方薬を把握し、誤薬のないよう確認したり、薬剤情報をファイリングしている。内服薬変更後の経過をみながら必要に応じて医師に報告している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりに合わせて役割をみつけ、活躍できる環境を整えている。また、感謝の気持ちを伝え、やりがいを感じて頂けるよう支援している。個人の趣味や習い事等、講師に來館してもらい楽しんでおり、作品を居室やリビングへ飾ることで、利用者同士の会話にも繋がっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 利用者の希望を聞き、ドライブや買い物へ出かける機会を作るようにしている。気候の良い時期には散歩へ出かけたり、誕生日レクの際にはその方の希望の場所へ1×1で出かけたりしている。また、ご家族の協力を得ながら初詣へ出向いたり、地域のお祭りへ出かけている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 殆どの方が自己管理する事が難しく、使用する機会があまりないが、買い物や外出先での支払いは希望やレベルに応じて本人が支払えるよう支援している。また、お金を持っていないと不安な方には、少額だがお財布を持っていただき、安心できるよう支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎年、年賀状・暑中見舞いが出せるよう支援している。希望に応じて居室に固定電話を設置したり、携帯電話を持参していただいたり、好きな時に電話が使用できるよう支援している。利用者・ご家族の希望に応じて電話の取り次ぎも行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の混乱を招くような物がないよう環境を整え、常に清掃して清潔に努めている。利用者が心地よく暮らせるよう照明や温度を調整し、季節の花や飾り付けをしている。また、季節ごとに利用者の工作等を掲示し、利用者自身の自信や自慢に繋がるよう工夫している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合う利用者同士が隣席で過ごせるよう配慮したり、ソファをL字に配置して会話しやすいようにしている。廊下・玄関・玄関先にもベンチを設置し、思い思いの場所で過ごせるよう支援している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室内の家具は、できるだけ自宅を使い慣れた馴染の物を持参して頂いている。また、ご家族に相談してアルバム写真や好みの室内装飾品などを置いて頂くことで、自宅に近い居住空間を作るように努めている。自宅で和室生活だった方には、可能な限り和室への入所案内をしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者が少しでも自立した生活ができるよう、トイレや居室入り口には分かりやすいように表示をしている。また、職員が身近で気配り・目配り・言葉かけをして自立した生活が送れるよう支援している。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-------------------|------------|-----------|
| 事業所番号 | 2277100588 | | |
| 法人名 | 社会福祉法人 慶成会 | | |
| 事業所名 | グループホーム花みずき (幸館) | | |
| 所在地 | 静岡県浜松市西区大山町2882番地 | | |
| 自己評価作成日 | 令和2年2月25日 | 評価結果市町村受理日 | 令和2年3月13日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2019_022_kami=true&JigyosyoCd=2277100588-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 令和2年3月6日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな広い敷地にゆったりと配置された3棟の平屋造りの建物です。ご利用者が自由にのびのびと暮らしていただけるよう、玄関は夜間帯を除き常に開錠されています。敷地内に作った畑を利用して、老人会や保育園児との交流を行うなど、立地環境の利点を活かして地域社会とのつながりを大切にしています。職員は入居されている方と共に生活を楽しみ、ご家族様にとってもものんびりと寛げる環境づくりを心掛けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

3つのユニットに頼もしいリーダーを配置、管理者が各々の良いところを引きだして任せる体制が敷かれ、待機者24名との数字がその信頼の高さを物語っています。例えば給食会社は2年で見直しをかける公明正大さで年々精査を重ねており、内部でも工夫を図っています。「味が濃いからか、残食がなくなったね」を経て「あれ、血圧があがってるね」と変化に気づくと漬物を代替にして数値を元に戻し、パン好きな人の為のパンモーニングが月数回、「刺身を食いたい」との声に買いに走ることやムース食を元の魚の形に戻すなどの他、ひな祭りのちらし寿司は利用者が味付けに腕を奮う日もあり、どの切り口も力を尽くしていることが伝わります。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 「やさしく、ゆったり、よりそって」という法人理念をもとに、行動指針を credo として示し職員全員へ配布している。入職時研修では credo の内容を取り入れており、入職後も credo に基づいた内容を月目標として設定するなどして実践している。 | | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 地域の保育園、小中学校、老人クラブとの定期的な交流の機会はあるが、日常的な交流はできていない。昨年度から法人全体として地域へ発信していけるよう、地域の方を招いて秋祭りを開催したり、地元大山地区の桜まつりへの模擬店を出店したりと交流を図っている。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 地域の福祉専門学校生の実習、中学生の職場体験学習で認知症について学んでいただいた。また、法人内で連携して民生委員の方を招いた施設見学会と説明会を行っている。地域、職員向けに開催される初任者研修では、職員が講師として参加した。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には地域の方、ご家族様以外にも他事業所の管理者にも参加していただき、悩みを共有したりアドバイスを得ている。今年度は法人内事業所のケアレジデンス東山、ナーシングケア東山と合同で会議を開き、さらに意見の幅も広がった。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 市担当者の運営推進会議への参加以外にも、生活保護者の受け入れをしているため必要に応じて社会福祉課担当者とも連携をとっている。必要に応じて地域包括支援センターや市へ相談、報告を行っており、地域包括主催の研修会へ地域の方と一緒に職員が参加するなどしている。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 事業所内での勉強会開催と委員会を設置している。法人全体での研修他、新規採用職員への教育機会を設けている。玄関の扉は夜間を除き常に開放しており、ケア会議等を通して身体拘束が行われないよう注意している。スピーチロックに気づいた時には都度注意している。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 新規採用職員へのオリエンテーションの中で「高齢者虐待防止法」についての教育を行っている。また法人全体研修以外にも外部研修へ参加し、ケア会議で伝達研修を行う等、虐待防止への意識共有を図り防止に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 法人内での職員研修に参加することにより、権利擁護に関して学ぶ機会を作っている。また、既に成年後見制度を利用されている方が複数いるため、日々の支援を通じて学びを得ている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居契約時には文面を確認しながら必ず口頭説明を行い、質問や不安点をお聞きしている。また、制度や利用料の内容が変更になった際には家族会と毎月発送している便りを利用し、その都度説明と必要に応じた同意を得ている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 家族会、運営推進会議へ参加していただいたり、ケアプラン面談時に意見や要望を聞き、運営に反映させている。また、ご家族の都合や要望に合わせ、電話以外にもメールでの連絡も行っている。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | ケア会議や人事考課面談、職員意向調査アンケートを通して意見を聞く機会を設けている。管理者はリーダー会議を通して現場の把握に努めるとともに、月1回のアミーバ会議を通し代表者へ意見や提案を伝える機会を設けている。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 年2回の人事考課評価・面談を実施し、次年度の昇給率に反映されており、今年度は委員会を設置して内容の見直しを行った。労働時間等についてはアミーバ経営を通して法人全体で情報共有されており、年1回の職員意向調査を実施することで職場環境・条件の整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 法人主催で新規採用職員研修が実施され、既存職員にも月1回以上研修の機会が設けられている。また、外部研修の案内発信他、法人による初任者研修は業務内に受講可能であり、キャリアアップに繋がるよう努めている。力量に応じた外部研修参加も行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 今年度は法人外の事業所との交換研修を実施できなかったが、運営推進会議へ参加していただくなど意見交換をしている。県グループホーム連絡協議会の研修参加他、法人内事業所間での職員研修を行い、サービスの質向上に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所前には必ず事前面談を行い、本人に不安なことや困っている事を聴くようにしている。入所後は事前情報を基に本人の様子や言動に気を配りながら声をかけ、関係づくりに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 施設見学時以外にも、入所突前前の準備段階でも必ずご家族へ電話をかけ、近況確認を行っている。入所前の事前面談にも可能な限り立ち会っていただき、直接要望等をうかがっている。立ち会えない場合であっても、入所手続きや面会時に話をうかがうようにし、関係づくりに努めている | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 法人内の各事業所相談員・ケアマネが月1回集まり、入所相談のあった方に対して必要なサービス利用ができるよう話し合いの場を設けている。また、サービス提供がスムーズに行えるように常に情報共有し対応している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 職員は利用者と一緒に家事を行ったり、一緒に歌をうたったりと、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。家事等の後には必ずお礼を伝え、共に生活させていただいているという意識を忘れないよう努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 面会時には最近の様子や健康状態の報告を行い、必要に応じて電話やメール連絡を行っている。連絡を密に行うことで相談しやすい環境づくりを心掛けるとともに、受診や買い物対応にご協力いただいたりと、共に利用者を支えている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 外出・外泊等を自由にしていただき、ご家族やなじみの知人が心置きなく来館できるよう努めている。年賀状や暑中見舞いのやり取り他、電話の取り次ぎをするなど関係が途切れないよう支援している。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | レクリエーションや家事を通し、利用者が集まったり協力し合える環境づくりに努めている。必要に応じて職員が間に入ったり、利用者同士の性格や相性を考えて席を配慮する等している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 法人内の施設へ異動した際には面会に出向き経過を見守る他、各事業相談員・ケアマネが月1回集まり経過確認と情報共有・フォローを行っている。また、ご家族から相談があった場合もその都度対応し、必要に応じて法人外の施設へ連絡をとる等フォローに努めている | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 会話や行動から、利用者が希望している生活や要望を把握するよう努めている。認知症が進行し意向確認が困難であっても、言動や過去の生活から想いを汲み取り、ご家族と相談しながら随時検討・共有している。また、声をかける際にも利用者が選択できるような言葉かけを行っている | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族への聞き取りを行い、生活歴や馴染みの暮らし・生活環境の把握に努めている。また、入所前に利用していたデイサービスへ出向いたり、担当ケアマネから情報を得るようにしている。可能であれば自宅へ出向き、生活環境を把握したり、ご家族へセンター方式の記入を依頼している | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の健康チェックで身体の状態を記録している。日常のケア記録、職員間の申し送りや情報交換により、常に状況把握に努めている。利用者ごとの申し送りファイルは生活面・医療面と内容によって色分けを行い、経過も含め把握しやすいよう工夫している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日常会話やモニタリングの際に本人の意向を確認したり、計画作成担当者が中心となって職員の意見をまとめている。また、面会やケアプラン面談の際にご家族に意向の確認を行い反映させている。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 利用者の発した言葉や行動を記録し、気づいた事や重要な内容は職員間で共有しやすいよう個別でファイリングしている。また、ケア会議で必要に応じた対応を話し合い、介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 利用者の希望に応じて良レクや外食の機会を設けたり、本人・ご家族の意向に合わせてフラワーアレンジメントや書道教室ほか、囲碁を行っている。必要に応じてご家族へ相談したり、協力を得るなどしながら柔軟に対応している。また、必要に応じて入退去の引っ越しの手伝いも行っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアによる教室や、地域の老人会や保育園児と交流しながらの畑仕事を楽しみとなっている。また、来年度は人形劇のボランティアが来館予定である。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 法人内に診療所があり、月2回の内科任診以外にも必要時は医師へ報告・指示を受け対応している。診療所で皮膚科の対応も可能であり、適切な医療を受けやすい。利用者・ご家族の希望に合わせ、法人内の診療所以外の医療も受けられるよう支援している。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 週2回の看護師の来館時には必ず状況を伝え、必要な処置を依頼している。看護師と24時間オンコール体制をとっており、訪問日以外にも必要に応じて相談・報告を行い、医師への連絡・指示を仰ぐ等適切な対応がとれるよう努めている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院の際には職員が病棟まで立ち合い、医療機関へ生活状況などを詳しく伝えている。可能な限りお見舞いに出向き、認知症の進行緩和のためにも医療関係者と情報交換を行って早期退院に努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 身体状況変化に応じて早い段階から医師・看護師・ご家族と話し合いの場を設け、意向確認や協力要請の話し合いを行っている。その内容を基に方針を定め、共有している。経過を見ながら必要に応じて再度面談を実施したり、ご家族が終末期に付き添える環境を整えている。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 法人内で心肺蘇生等の講習を行っている。また、利用者個々の予測される急変症状に合わせ、対応を事前に医師から指示を受けるようにしている。救急搬送等速やかに対応できるよう医療情報ファイルの作成と緊急連絡簿の作成を随時行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 新規採用職員を中心に、夜間火災を想定した避難訓練を各館ごとに実施している。また、台風による大規模停電の教訓を得て法人全体としてBCPへの取り組みを行い、大規模災害に備えた法人との防災協定を結んでいる。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりの性格や生活歴を理解し、言葉かけや対応に十分注意している。また、何かして下さった際には必ずお礼を伝えるように心がけている。ファイル管理含め、個人情報の取り扱いにも十分注意しており、入居の際には必ず意向確認を行っている。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃から本人の思いや希望を表現しやすいよう話の傾聴に努めている。また、認知症が進行した方には選択肢を出すなど表現しやすい対応に努め、言語コミュニケーションが困難な方には非言語コミュニケーションを工夫する等対応している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者個々のレベルや嗜好に合わせレクリエーションを提供したりと、その方のペースで取り組むことができるよう支援している。利用者の希望に合わせて外出したり、屋外で過ごしたい方には所在確認や見守りを行い、危険のない範囲で屋外で自由に過ごしていただいている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 月1回の理美容出張サービスでは、利用する方の好みを伝えられるよう支援している。また、本人・ご家族の希望で日常的に化粧品・乳液をつけたり、お化粧をしたりしていたり、日頃から着たい服が着られるよう支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 一人ひとりに合った食事前の準備や片付けに参加して頂いている。手作りご飯の機会を設け、メニューを一緒に考えたり、調理や盛り付けを通して楽しんでいる。屋外での食事の機会を設けたり、誕生日に好物を食べに出かけるなど、食事が楽しめるよう支援している。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 献立は業務委託先の栄養士が考え、バランスの良い食事を提供している。日々、食事と水分摂取量を記録することで変化に気づき、利用者一人ひとりの能力や体調に合わせた食形態を検討したり、好みの物や栄養補助食品を提供し支援している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 本人に合った歯ブラシを選択し、毎食後一人ひとりに合わせた口腔ケアの言葉かけや支援を行っている。月1回歯科衛生士の来館があり、口腔内のチェックやブラッシング指導を受けている。治療が必要な場合でも、可能な限り訪問診療で対応している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個別の排泄チェック表を記入し、排泄パターンやトイレサインの把握に努め、できるだけトイレで排泄ができるよう支援している。また、さりげない言葉かけや誘導を行い、自尊心の配慮に努めている。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 日頃から水分摂取量や排泄の確認を行い、レクリエーションや体操などでできるだけ身体を動かすようにしている。また、乳製品や果物、食物繊維を摂っていただいたり、腹部のマッサージを行うなど、なるべく自然排便ができるよう取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 週2~3回入浴できるよう支援している。体調や気分に応じて入浴日や時間を変更したり、好みのシャンプーや洗顔を使用いただき、できる限り希望に添えるよう支援している。入浴が困難な方には清拭や足浴・手浴・ベッド上でのシャンプーを行っている。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活習慣やその時の状況に応じて急速・就寝して頂いている。室温や照明等の調整を行い、環境を整えている。夜間は2時間おきに見回りを行い、安心して休んで頂けるよう努めている。布団干しやシーツの洗濯を定期的に行い、気持ちよく眠れるよう支援している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 任診時には薬剤師が付き添い、一人ひとりに合った内服薬の調整と配薬管理を行っている。職員は配薬カードを活用して処方薬を把握し、誤薬のないよう確認したり、薬剤情報をファイリングしている。内服薬変更後の経過をみながら必要に応じて医師に報告している。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりに合わせて役割をみつけ、活躍できる環境を整えている。また、感謝の気持ちを伝え、やりがいを感じて頂けるよう支援している。個人の趣味や習い事等、講師に來館してもらい楽しんでおり、作品を居室やリビングへ飾ることで、利用者同士の会話にも繋がっている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 利用者の希望を聞き、ドライブや買い物へ出かける機会を作るようにしている。気候の良い時期には散歩へ出かけたり、誕生日レクの際にはその方の希望の場所へ1×1で出かけたりしている。また、ご家族の協力を得ながら初詣へ出向いたり、地域のお祭りへ出かけている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 殆どの方が自己管理する事が難しく、使用する機会があまりないが、買い物や外出先での支払いは希望やレベルに応じて本人が支払えるよう支援している。また、お金を持っていないと不安な方には、少額だがお財布を持っていただき、安心できるよう支援している。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 毎年、年賀状・暑中見舞いが出せるよう支援している。希望に応じて居室に固定電話を設置したり、携帯電話を持参していただいたり、好きな時に電話が使用できるよう支援している。利用者・ご家族の希望に応じて電話の取り次ぎも行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 利用者の混乱を招くような物がないよう環境を整え、常に清掃して清潔に努めている。利用者が心地よく暮らせるよう照明や温度を調整し、季節の花や飾り付けをしている。また、季節ごとに利用者の工作等を掲示し、利用者自身の自信や自慢に繋がるよう工夫している。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合う利用者同士が隣席で過ごせるよう配慮したり、ソファをL字に配置して会話しやすいようにしている。廊下・玄関・玄関先にもベンチを設置し、思い思いの場所で過ごせるよう支援している。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 居室内の家具は、できるだけ自宅を使い慣れた馴染の物を持参して頂いている。また、ご家族に相談してアルバム写真や好みの室内装飾品などを置いて頂くことで、自宅に近い居住空間を作るように努めている。自宅で和室生活だった方には、可能な限り和室への入所案内をしている。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 利用者が少しでも自立した生活ができるよう、トイレや居室入り口には分かりやすいように表示をしている。また、職員が身近で気配り・目配り・言葉かけをして自立した生活が送れるよう支援している。 | | |